

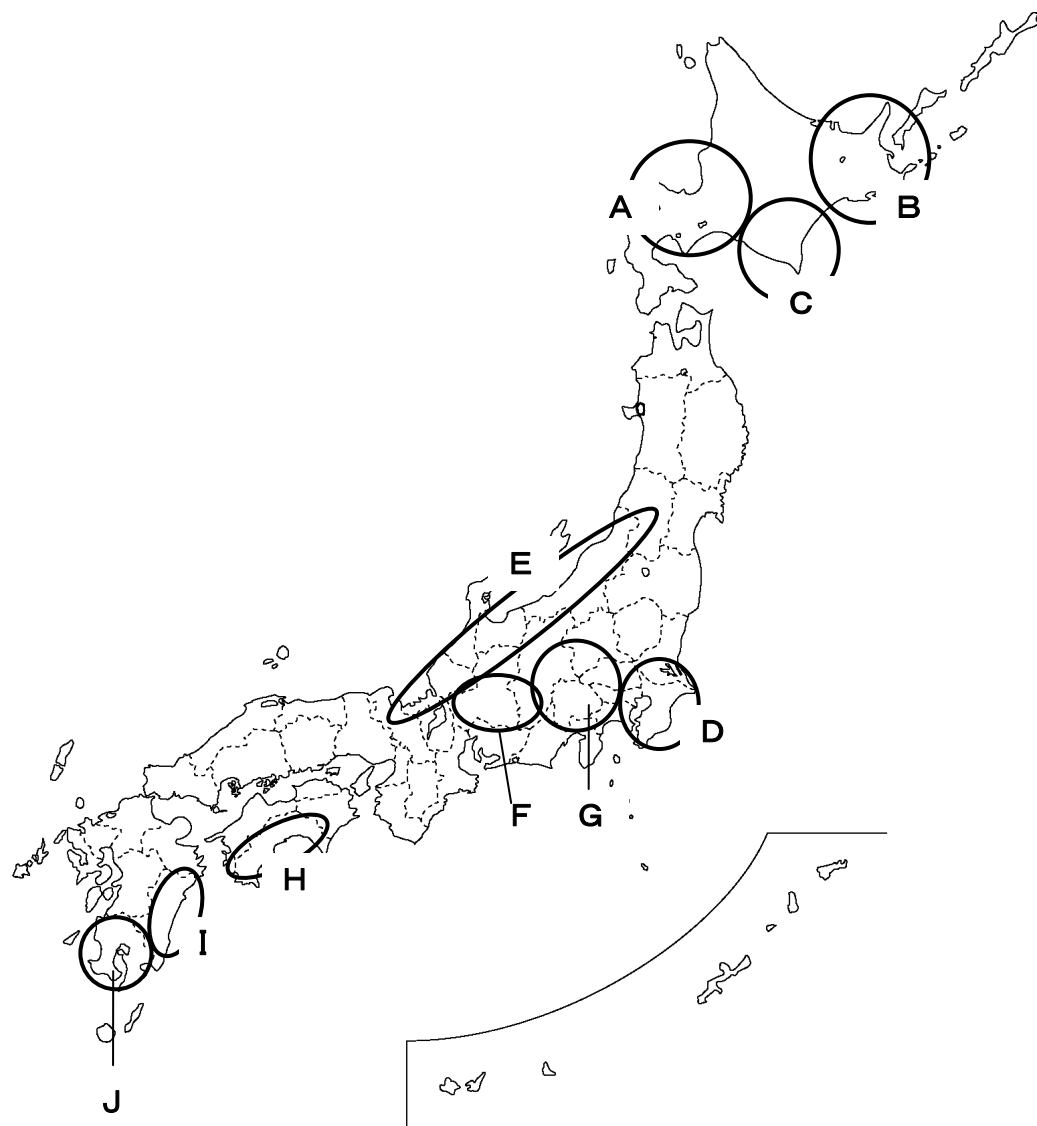
チャレンジシート① 学ぶ

日本の農業の特徴

単 元 名

世界と比べた日本の地域的特色

日本の農業



Aの地域：北海道で稲作がさかんな地域

Bの地域：酪農が大規模に行われ、乳製品や生乳を他地域に出荷する。

Cの地域：野菜の栽培がさかんな地域。じゃがいもや玉ねぎなど日持ちする野菜が中心。

Dの地域：東京大都市圏に短時間で出荷できるため、鮮度が重要な野菜や花、牛乳などを生産する近郊農業がさかん。

Eの地域：豊富な雪どけ水を利用した稲作がさかん。全国有数の米の単作地帯。

Fの地域：標高が高い高原では、涼しい気候を利用したレタスやキャベツなどの栽培がさかん。

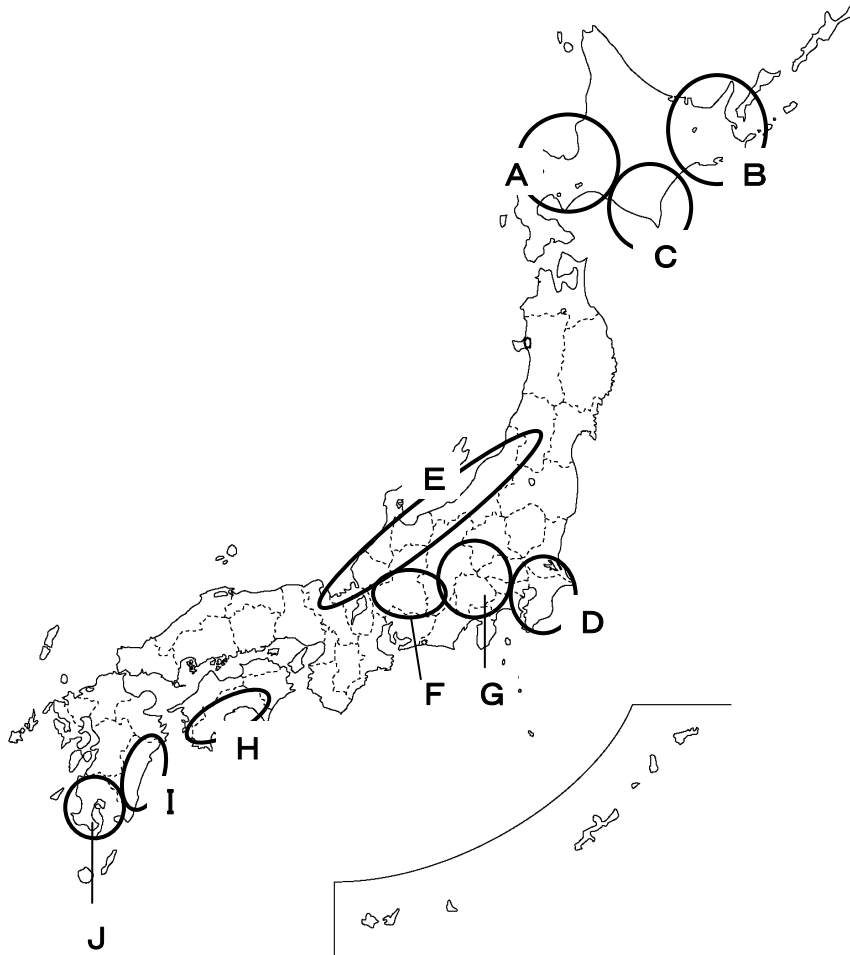
養蚕がさかんだった諏訪盆地は、製糸業から精密機械工業、電気機械工業へと移り変わっていった。

Gの地域：扇状地の水はけのよさを生かし、ぶどうやもも等の果樹栽培がさかん。山梨県は一大産地。

H・Iの地域：太平洋側の温暖な気候をいかした野菜の栽培がさかん。ビニルハウスなどを用いた施設園芸農業がさかんで、ほかの産地と出荷時期をずらして栽培され、全国に出荷されている。

Jの地域：火山灰でできた土地で、さつまいも、野菜、飼料作物などの栽培がさかん。また、肉牛や豚、鶏の飼育を行う畜産がさかん。

単 元 名	年 組 番	15問
世界と比べた日本の地域的特色 日本の農業	氏名	



Aの地域：北海道で（ ① ）がさかんな地域

Bの地域：（ ② ）が大規模に行われ、（ ③ ）や生乳を他地域に出荷する。

Cの地域：北海道で野菜の栽培がさかんな地域。（ ④ ）や玉ねぎなど日持ちする野菜が中心。

Dの地域：東京大都市圏に短時間で出荷できるため、（ ⑤ ）が重要な野菜や花、牛乳などを生産する、（ ⑥ ）がさかん。

Eの地域：豊富な雪どけ水を利用した（ ⑦ ）がさかん。全国有数の米の（ ⑧ ）地帯。

Fの地域：標高が高く、（ ⑨ ）気候を利用したレタスやキャベツなどの野菜の栽培がさかん。

Gの地域：（ ⑩ ）の水はけのよさを利用したぶどうやももなどの（ ⑪ ）栽培がさかん。

H・Iの地域：太平洋側の（ ⑫ ）な気候をいかした野菜の栽培がさかんな地域。ビニルハウスなどを用いた（ ⑬ ）農業がさかんで、ほかの産地と出荷時期をずらして栽培され、全国に出荷されている。

Jの地域：火山灰でできた土地で、（ ⑭ ）、野菜、飼料作物の栽培がさかん。また、肉牛や豚、鶏の飼育を行う（ ⑮ ）がさかん。

①	②	③
④	⑤	⑥
⑦	⑧	⑨
⑩	⑪	⑫
⑬	⑭	⑮

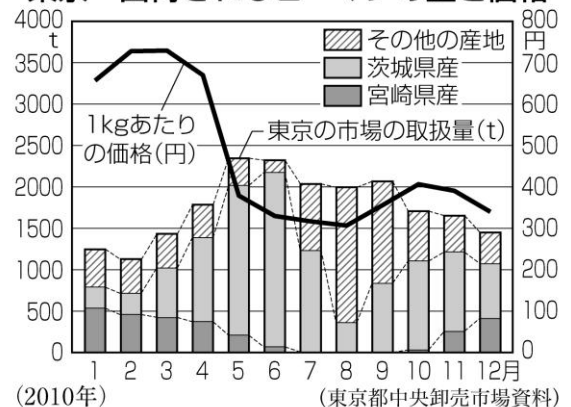
単 元 名	年 組 番	4 問
世界と比べた日本の地域的特色 日本の農業	氏名	

1 日本海側の地域で、稲作が盛んな理由を「積雪」の語句を用いて説明しましょう。

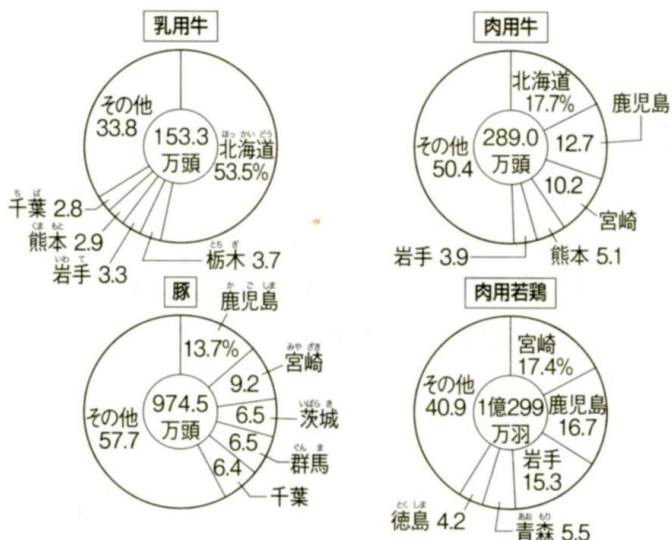
2 東京の周辺で、キャベツなどの野菜や花などの栽培がさかんな理由を「輸送」「消費」の語句をどちらとも用いて説明しましょう。

3 右のグラフを見て、宮崎県のピーマン栽培の特徴を「温暖」「価格」の語句を用いて説明しましょう。

東京へ出荷されるピーマンの量と価格



4 左のグラフを見て、九州地方南部の農業の特色について、シラス台地と関連付けて説明しましょう。



(2008年「畜産統計」ほかより)
